

「脱・無投票」への軌跡

「議会と町民は一体」 私たちが4年で転換できた理由

現在 全国の町村議会では、一度「無投票選挙」となると、議会に対する町民の関心や信頼が薄れ、無投票が恒常化していく傾向も見られます。そんな中、寄居町議会議員選挙がこの4年間で一気に「脱・無投票」に転換し、20代～40代の若者世代が4人も立候補したことは、私たち議会の取り組みも少なからず起因となったのではないかと考えます。

寄居町議会のリアル



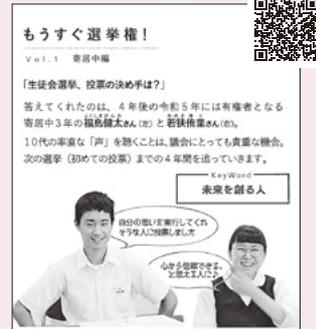
始まりはここからだった

町民の皆さんへ「議会は約束します！」

4年前、無投票を受けての緊急特集「無投票でいいんですか？」の93号からは18歳選挙権を意識し、中学生・小学生を対象とした「もうすぐ選挙権」コーナーも設けました。学校やご家庭へ出向いての取材は40回107人。議会が「次世代への呼びかけが住民自治への意識改革となる」ことを信じて続けてきた取材です。

これからも全議員が「聴く・動く」を掲げ、年4回の定例会報告と議会活動の特集を組み合わせながら、文字どおり町民と議会が「住民自治」を共に誌面上で語り合う議会だよりを目指していきます。

次世代への呼びかけでの住民自治の意識改革を



KOE METER 議会が聴いた皆さんの声

今号は11人登場 (2015年～)



2015年からカウントを始め、議会だよりの表紙に掲載してきた「KOE METER (声メーター)」は、「議会が町民に取材し、①顔写真 ②名前 ③コメントの了解をいただいた方を掲載した人数」。毎回新しい方に取材することを心がけ、今号で計825人。約3万2,000人の人口の町で約2.5%の町民がこの議会だよりに登場したことになります。

議会広報広聴特別委員会

委員長 鈴木詠子 本間政道
副委員長 里見夕子・浅見玲子
委員 権田孝史・笠原則夫
大澤博・原口孝
発行責任者(議長) 吉澤康広

全国からの「視察」を受けて成長 EDITORS NOTE.109

私たちの取り組みが評価され、現在、全国の議会(年間約30自治体)の視察を受諾。評価のポイントは「町民取材の声」を町への提言につなげる「議会発政策サイクル」。この一連の流れをコツコツと続けてきたことが視察に来られた議会との議論の焦点に。全国の議会と切磋琢磨し、さらに成長した寄居町議会へ。挑戦は続く。(鈴木)

議場のリアル 議会傍聴のご案内

次の定例会は

9月1日金

午前9時開会予定
(傍聴席は役場4階です)

町民の声を町政へ！「請願・陳情」

8月14日(月) [午後5時] 締切



声で聴く議会だより・動画で見える議会だより
議会HPで公開中



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したユニバーサルデザインフォントを使用



会期予定
議会映像

お元気ですか 寄居議会です No.109 2023(令和5) 8.1発行
発行…寄居町議会 〒369-1292 埼玉県大里郡寄居町大字寄居1180番地1
編集…議会広報広聴特別委員会 Tel 048-581-9995 Fax 048-581-6911